

さい、議会だより



楽しく体を動かして冬場の運動不足を解消（ヘルスアップ in 佐井 1月14日 アルサス）「ミニ運動会 フラフープリレー」

1 2月定例会の主な内容

- ☆新「教育長」の人事案を可決……………2～3ページ
- ☆一般質問「村長に温泉開発を問う」……………5ページ
- ☆追跡質問「村独自の奨学金制度導入するべき」……………6ページ
- ☆お元気ですか「花鳥風月を楽しみ人生を豊かに過ごす」…8ページ

平成28年12月定例会は、12月6日から8日までの3日間の会期で行われました。村長から、補正予算案4件、条例案7件（うち追加提案2件）、同意案1件、その他2件の計14件が提出され、予算条例等審査特別委員会を設けて集中審査し、すべての議案を全会一致で原案どおり決しました。

議員提出議案

○佐井村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
 人事院勧告及び青森県人事委員会勧告に基づき、議員の期末手当の支給率を5%引き上げる。

○地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書
 地方議会議員のなり手不足が問題となっており、地方議会議員の年金制度や報酬を時代にあわせてのものにすることで、議員を志す若い世代などの人材確保に繋がると考える。よって、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急を実現するよう強く要望し、意見書を提出した。

12月期末手当（支給率1.575⇒1.625）

議長	362,242円 ⇒ 373,742円
副議長	301,644円 ⇒ 311,220円
議員	288,178円 ⇒ 297,327円

※議会では、平成17年度から期末手当支給額から5%を削減しています。

審議した主な議案

○佐井村特別職の職員の給料等に関する条例の一部改正
 ○教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例を廃止する条例附則第2項の規定によりなおその効力を有するものとされる旧教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正

人事院勧告及び青森県人事委員会勧告に基づき、県が実施する方針に沿い、12月期末手当の支給率を5%引き上げる。

○職員の給与に関する条例の一部改正
 勤労手当支給割合や給料表などを改正する。

○定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結
 協定の中にニホンザル被害対策、有害鳥獣等被害対策、総合スポーツ施設などの環境整備、運営などを追加する。

現教育長の行事の欠席
 村長はどう把握している

竹内典和議員

現教育長は、学校行事や教育委員会の行事などを度々欠席している。その実情を村長は、どのように把握しているか。

今後は日程調整を協議したい

村長

現在教育長は、全日本吹奏楽連盟の理事、東北の吹奏楽連盟の理事、青森県の吹奏楽連盟の理事長を務めている。そのため、全国、東北、青森県の大会と学校行事が重なることがあり、欠席を余儀なくされているのが現状である。今後は関係団体と協議をして、日程を調整したい。そしてなるべく軸足を地元に着くようにしていただきたいと考えている。

新教育長は仕事も責任も増える

竹内典和議員

法改正により、新たに教育長と教育委員長の職も兼ねることになるので、仕事も責任も増える。村長の考えを伺う。

十分意を配りたい

村長

教育長の任務が教育分野から、行政分野にまで広がるのが考えられるため、十分意を配りたい。

一般会計補正予算
臨時福祉給付金 700名分を計上

一般会計				
補正前	補正額		計	
27億8515万円	2360万円		28億875万円	
補正の 主な 内容	<ul style="list-style-type: none"> ■臨時福祉給付金に対応するシステムの改修に要する委託料・・・114万円 ■庁内のネットワークシステムを県のセキュリティワゴンへ接続するための委託料・・・1270万円 ■臨時福祉給付金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1050万円 平成28年度の村民税が非課税となっている方に対し、2年半分を一括して支給 1万5,000円×700名分=1050万円 ■保育所入所児童と0歳児の増加による指定管理者への委託料・・・496万円 ■8月末の大雨時の増水による土砂除去用重機借上料（2か所）・・・66万円 			
	※オチコ沢（古佐井 ^{としゆこう} 頭首工付近）とロクベイ沢（古佐井山浄水場入口付近）			
	特別会計			
	会計	補正前	補正額	計
	簡易水道事業	7653万円	△184万円	7469万円
下水道事業	1億9002万円	7万円	1億9009万円	
介護保険事業	3億5327万円	29万円	3億5356万円	

※「新たな教育委員会制度」とは、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」です。旧教育委員長は、委員としての任期が残っている間は、引き続き委員として在職することになります。



祐川 俊樹さん
(古佐井)

教育委員会教育長 祐川俊樹氏の任期が平成29年1月19日をもって任期満了となるため、引き続き同氏を※新たな教育委員会制度による教育長に任命することに、全会一致で同意しました。

教育委員会教育長
祐川 俊樹氏の
任命に同意

高齢者の交通手段に対策を

竹内典和委員

※「下北圏域定住自立圏共生ビジョン」の中に、「生活交通手段の維持と確保」とあるが、昨今高齢者の交通事故が増え、免許返納者が増えると予想される。当村には循環バスや電車はないし、タクシ業者もない。今後、ますます高齢者の買い物や、医療機関への交通手段が不自由になると思うが、村長はどう考えるか。

過疎地・福祉有償 運送利用者もいる

村長

今現実には、買い物などに不自由をきたしている高齢者や、単身世帯が多い中で、過疎地・福祉有償運送を利用している方もいる。既存の公共交通機関との調整も必要であり、今後検討して行く。

すぐ利用できる 対策が必要

竹内典和委員

現在佐井で行っている制度は、予約が必要で、緊急には対応できていない。一般の方でもすぐに利用できるような対策を早期に構築する必要があると思うが。

町内会などと

協議したい

村長

ボランティア輸送の運転協力者の登録者が少ない現状であるので、例えば各町内会で相互に支え合うことなどで、真の住民自治を確立できるのではないかと思う。今後、町内会などと協議をしていきたい。



冬場でも自宅まで迎えに来てくれると高齢者は出掛けやすい

過疎地・福祉有償運送は、事業主体は村で、社会福祉協議会が実施主体です。協議会で予約受付や配車などを行い、通院や買い物のほか、最寄りのバス停までの送迎など地域住民の足となっています。

◆過疎地・福祉有償運送

過疎地運送利用者 589人

福祉運送利用者 34人

◆運転協力者登録者数

一般住民 2人

社会福祉協議会 10人

※平成28年8月現在

※下北圏域定住自立圏共生ビジョンとは

むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村の5市町村で構成され、互いに連携・協力をするにより、圏域全体の活性化を図ることを目的としています。

平成27年10月5日に協定を締結し、「定住」のための暮らしに必要な対策や、「自立」のための経済基礎や地域の誇りを培い、全体として魅力あふれる地域を形成して行くことを目的としています。

「一般質問とは」・・・?

議員が役場の仕事について、村長の考えや意見を求め、事柄をたしたり、議員や村民の意見を述べることをいいます。

現行政策の見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。



田中岩男議員

住民が集う憩いの場が求められる

千金温泉の再開できないか

村長―温泉の開発や旧千金温泉施設の改修は行わない

田中議員

村では十数年前に二度温泉発掘を行ったが、ともにお湯の量が少なく、利用を断念した経緯がある。また当村は、郡内町村の中でも温泉施設が無く、公衆浴場も無い。

雇用や住民の憩いの場の創出、観光振興の観点からも温泉施設が必要だと考えるが、調査や建設の計画はあるか。

現時点で

計画はない

村長

温泉施設は住民にとって悲願であり、過去に二度川目地区と中道地区で温泉発掘に挑戦した。現在も佐井温泉、中道温泉として温泉の認可はもらっているが、湧出量が少なく利用

はしていない。現時点で、新たな温泉施設の発掘調査及び施設建設計画はない。

千金温泉の再開を交渉できないか

田中議員

現在休業している千金温泉の再開を、所有者に対し交渉できないか。

また、再開できない場合は、村が公共温泉施設として借り受けるなどして、改修することはできないか。

東北産業が前向きに検討している

村長

所有者である株式会社東北産業に確認したところ、温泉のみならず既存の施設を含め、佐井村に対して何か役に立つものはな

いか前向きに検討しているということであった。そのため、施設を村が借り受けることは考えていない。今後、連絡を密にして情報交換に努めていきたい。東北産業に対しては、少しでも多くのお金の皆さんの福祉の向上に繋がる振興策を期待している。



営業当時は村内外からたくさんのお客が訪れた旧千金温泉（原田）

◆追跡質問では、過去に質問した件はその後どうなったのか経過を問います。

28年6月定例会で質問

返済不要の奨学金制度

村独自の支援策で学生に希望を

竹内典和議員

返済不要の奨学金制度について、すでに政府の制度設計も出されている。佐井村も来年度の予算編成に入るが、今日までの検討内容と、作業状況は。また、新年度予算に盛り込めるのか。

現状のまま継続

村長

6月定例会では、「厳しい財政状況であり、現状のまま継続したい。今後、国の給付型奨学金制度を注視して考えていきたい。」と答弁した。

現在の作業状況を、教育長から答弁させる。

一部条件付きでの対応を検討中

教育長

現行条例を改正し、一部条件付きでの対応を検討している。なお、来年度予算への計上は考えていない。

来春に向け

今対策すべき

竹内典和議員

政府は、奨学金を具体的に制度化している。ただしあくまで、大学入学者への対策である。村は独自の支援策として、大学はもとより高校、短大、各種学校をも考慮すべきではないか。学校教育が人材育成にも繋がるのなら、支援体制を構築すべきではないか。来春、生徒の進路を考えたらこの時期に対策するべきだと思ふが。

納税者の理解必要

村長

経済的理由を考慮しての対策であるが、返済義務がなくなる給付であり、納税者が納得できる内容で進める必要がある。

来春、経済的理由がある学生には既存の貸付型奨学金を利用してもらいたい。独自の給付型奨学金導入は、時間をかけ精査していきたい。

第一優先で

考えるべき

竹内典和議員

もう一つの問題は、貸付型奨学金を利用し、卒業した学生が社会に出て、その返済に苦慮し、将来の人生設計を描けないというところ。また、条件付き給付でも学生には、大きな目標ができ、励みになるのではないかと。佐井村の将来を考えたら、第一優先で考えるべきで、予算がないのではなく、優先順位だと思ふが。

独自の給付型奨学金導入に努力する

村長

限られた予算の中で事業計画しているわけで、どれも捨てがたい。今後精査し、ある程度の諸条件を付し、独自の給付型奨学金を導入できるよう鋭意努力したい。



東京大学 赤門

返済不要の奨学金で進学を目指す学生の後押しを

正副議長、事務局長研修会

10月27日 青森市

県内各町村の正副議長が参加し、山梨学院大学大学院研修科長・法学部教授の江藤俊昭講師が「地方創生をめぐる議会の課題—住民自治の根幹としての議会を作動させる—」と題し講演を行いました。

少子高齢化そして人口減少社会など激動の時期に、村議会の一員としての責務の重大さを改めて認識し、地方創生そして佐井村地域創生総合戦略の実現のために、年代を超えたさまざま住民参加の下で、議会共々丸となって取り組むことが大切であると強く感じた有意義な研修でした。

下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会

11月4日 むつ市



この研修会は、下北郡の町村議会議員と事務局職員が一堂に会し研修を行い、相互の理解と連携を強め、地域の議会活動の向上に資するために毎年行われているものです。

今年度は下北郡町村議会議員及び事務局職員に加え、むつ市議会議員及び事務局職員21名が参加し行われました。

大湊地方総監の中西正人氏を講師に迎え、「防衛講和」と題し、現在の自衛隊の国内外の活動状況や国外状況などについて講演が行われました。

東京佐井同郷会

11月19日 東京都



出席者は60名程でありましたが、開演前に販売された漁協加工品もあっという間に完売しました。

年に一度の再開で、懐かしさに歓声が起き、賑やかにそして和やかに楽しい時間が過ぎていきました。

議会代表参加議員：宮川尚

元気！で働くお年寄りを紹介



上山 正さん（満88歳） 川目

「規則正しい生活と昼寝が健康の秘訣」

1月の中旬、上山さんを訪ねると、寒気の影響で一気に積もった雪を力強く片付けていました。「近所さんの雪かきもするし、薪割りや畑仕事もする働き者。」と奥さんのハマさん（81歳）が教えてくれました。自宅の雪かきでさえ大変なのにとても88歳とは思えない体力ですが、それは営林署勤務時代に培ったもの。今も30分から40分のウォーキングは日課で、動くことが好きだと話してくれました。



雪かきも運動の一つ

また、山野草や動物の写真を撮ったり、菊の花を育てたりと多趣味です。「楽しみは、孫からの電話や、ひ孫の成長だなぁ。」と、にっこり。健康の秘訣は、食事や起床・就寝時間など規則正しい生活と、昼食後の少しの昼寝と教えてくれました。「ただ歩くだけでなく、雪道の動物の足跡を見ることも面白い。」と話す正さんは、時間を上手に使い、花鳥風月を楽しむ素敵な方です。

議会からの

おしらせ

議員辞職を許可

川岸一彦議員から、一身上の都合により12月5日付けで辞職願が提出され、同日付けで議長が許可しました。

佐井村議会議員として平成3年から25年の長きにわたり、議会の活性化、住民福祉の向上、地域振興発展などにご尽力されました。また、3期12年の議長在職中には、青森県町村議会議長会会長や全国町村議会議長会幹事を務めました。多大な功績を残しました。

現議員数7名（欠員1名）

◇編集後記

本年第1号となる「さい議会だより176号」を発行するにあたり、今後もより一層、村民の皆さまに親しみをもっていただける広報づくりに鋭意努力してまいる所存です。

また議会広報のみならず、議会に関するご意見、ご感想などありましたら、お寄せいただければ幸いです。

村民の皆さまの今年一年のご健勝と、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。（山口）

広報編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 田中 岩男 |
| 副委員長 | 山口 捷夫 |
| 委員 | 宮川 尚 |
| 川 川 | 竹内 典和 |
| 川 川 | 畑 勲夫 |